

フェリス女学院の職場紹介

1. 事務組織

(2024年4月1日現在)

大学 専任職員 50名	
総務課	附属図書館本館事務室
教務課	附属図書館山手分室※
学生課	保健室
国際課	演奏会室※
就職課	宗教センター
入試課	ボランティアセンター
就職課	バリアフリー推進室
広報課	
学長室	

中学校・高等学校 専任職員 7名
中高事務室
中高図書館事務室

本部事務局 専任職員 17名
総務課
人事課
財務課
経営推進課
情報システム課※
大学再編準備室※
内部監査室
学院保健室
歴史資料館事務室

緑園キャンパス(横浜市泉区) ※勤務地は山手

山手キャンパス(横浜市中区) ※勤務地は緑園

■は専任職員配置部署。1部署あたりの専任職員数は、1～11名です。



大学



中学校・高等学校



法人本部

2. スキルアップを支える人材育成のしくみ

(1) 研修体系と諸制度

	学内		学外
新規採用者	<ul style="list-style-type: none"> ● 内定者研修（新卒者対象） （PCスキル、社会人への準備） ● 新人研修 （学院の理解、基礎知識の習得） ● 新人サポーター制度（先輩によるフォロー） ● フォローアップ面談（ふりかえり） 	職員 全 体 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスマナー(新卒者対象) ● 五大学合同研修(基礎知識修得と人脈形成) ● キリスト教学校教育同盟夏期学校(キリスト教学校の理解と職員としての心構え)
若手	<ul style="list-style-type: none"> ● 2年目研修 ● 3年目研修 （知識修得・スキル向上） 		私立大学連盟等 <ul style="list-style-type: none"> ● オンデマンド研修 ● キャリア・ディベロップメント研修
中堅	<ul style="list-style-type: none"> ● 新任主任研修 ● 新任係長研修 （役割認識と実務遂行能力の向上） ● 係長研修 （学院内の問題解決） 		私立大学連盟等 <ul style="list-style-type: none"> ● 業務創造研修 ● PDCA サイクル修得プログラム
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ● 新任管理職研修 （マネジメントの基礎習得） ● 管理職研修 （実務マネジメントスキルの向上） 		外部団体主催のマネジメント研修
共通	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己啓発支援制度（費用補助） 		

(2) 評価制度

資格に応じて期待される役割の遂行度を評価し、育成、昇格、配置、賞与に反映します。

<フロー>

期初：目標設定

期中：中間面談

期末：自己評価→評価者による評価→フィードバック面談

3. 職場のデータ(2024年4月1日現在)

➤ 専任職員数とその男女比

	人数	構成比	合計
男性	32人	43.2%	74人
女性	42人	56.8%	

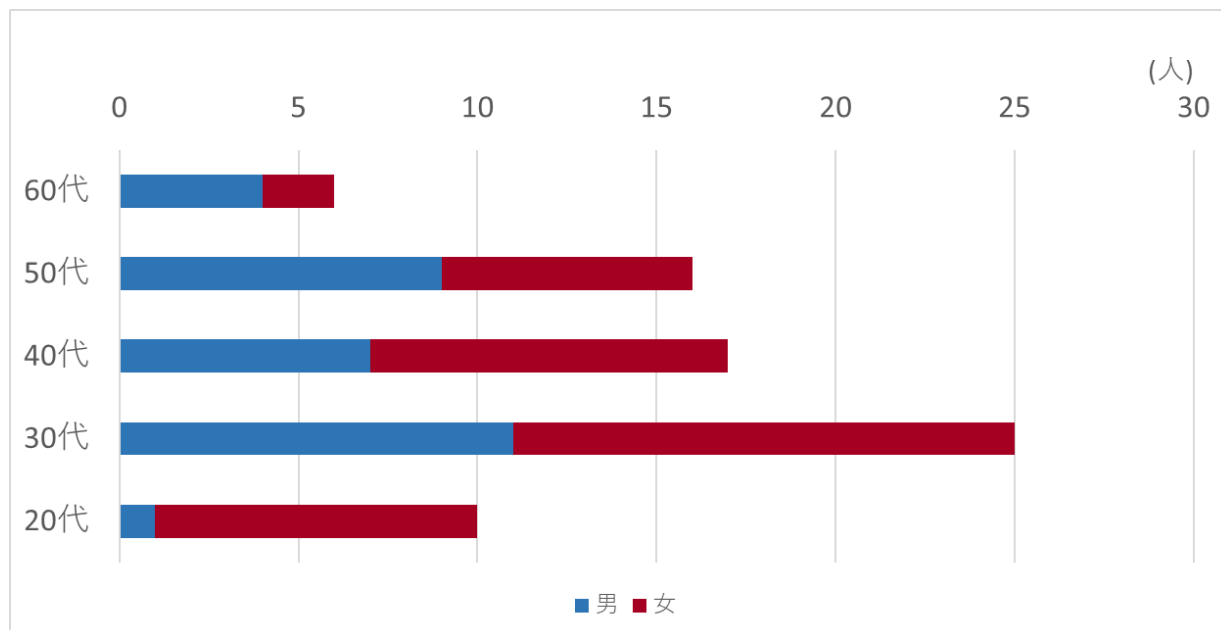
➤ 部門別専任職員人数

	大学	中・高	本部	合計
男性	18人	2人	12人	74人
女性	32人	5人	5人	

➤ 専任職員の平均年齢

	平均年齢	全体
男性	45.9歳	42.0歳
女性	39.1歳	

➤ 専任職員の年齢分布



➤ 管理職数とその男女比

	人数	構成比	合計
男性	12人	70.6%	17人
女性	5人	29.4%	

➤ 勤続5年以下の新卒者・既卒者割合

	人数	構成比	合計
新卒者	4人	17.4%	23人
既卒者	19人	82.6%	

4. 働き方改革の取り組み

職員がより働きやすくさらに力を発揮しやすい職場となるよう、職員の声なども参考にして検討を重ね、2023年4月から新たな施策を導入しました。

フェリス女学院が働き方改革で目指す職場

- ①時間や場所にとらわれずに効率的で生産性の高い仕事ができ、多様な人材が活躍できる職場
- ②仕事と生活両方の質を向上させ、双方がさらによい循環を生み出す職場
- ③ライフステージや個人の事情に応じて仕事と生活の配分を柔軟に調整できる職場

制度	内容
子の看護休暇対象年齢引き上げ	小学校6年生までの子どもについて看護休暇を取得可能
介護休暇取得日数の引き上げ	介護休暇を年間10日取得可能
時間単位の年次有給休暇導入	年5日の範囲内で、1時間単位での年休取得が可能
病気治療短時間勤務制度の新設	がんなど一定期間に渡り反復又は継続する治療を要する場合に短時間勤務が可能
年次有給休暇の取得促進	年休の年5日取得の徹底 3日以上連続の取得を含め年10日以上の取得を推奨
在宅勤務制度	要件を満たす場合に、在宅勤務を取り入れることが可能

5. 新入職員から見たフェリスの職場

新規採用の職員に対しては、新人研修を経て職場に配属後、

- ◇先輩がサポーターとなり安心して働けるようフォロー
- ◇入職3か月後には人事課による面談を実施

◇ 入職後2年目、3年目に階層別研修を実施
というように、様々な人が様々な形で関わりながら本人の成長を支援していきます。

その過程の中で、これまでの新入職員から寄せられた声を集めてみました。

人事課による入職3か月後の面談から

職員同士は、穏やかで誠実なコミュニケーション。情報を共有し、皆で助け合って仕事を進めるスタイル。

皆穏やかで優しい。分からないことも丁寧に教えてくれる。

自分が関わった学生の成長を実感できた時に、自分が役立っているという達成感を感じられた！

周りの職員がとてもよく自分の意見を聞いてくれる。提案しやすい雰囲気がある。

既卒採用の職員も多いので、多様な考え方に触れられる。自分も広い視野を持って柔軟に考えられるようにしたい。

2年目研修のグループワーク「既卒入職だから分かるフェリスの魅力」から

小規模ならではの強みがある！風通しがよい。職員間で情報共有がしやすい。

若手のうちから多くのことにに関わり、学院の方向性を実感しながら仕事をすることができる。

For Others のモットーのとおり、お互いを尊重しあう雰囲気がある。相談もしやすく、安心して仕事ができる環境がある。

教職員全体「All Ferris」の精神でよりよい学校にしていこうと努力している。

私たちと共に、これからのフェリス女学院を作り、担ってくれる方のご応募をお待ちしています。